

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道319号 <small>ぜんつうじ</small> 善通寺バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局
起終点 白：香川県丸亀市原田町 <small>かがわけんまるがめしはらだちょう</small> 至：香川県善通寺市大麻町 <small>かがわけんぜんつうじしおおさちょう</small>		延長 7.5km
事業概要 一般国道319号は坂出市を起点とし、善通寺市、琴平町を經由して伊予三島市に至る延長約63kmの主要な幹線道路であり、うち香川県内の8.5kmを直轄管理している。 善通寺バイパスは、当該地域における日常活動圏中心都市である丸亀市と善通寺市以南の地域を連絡する道路の一部を構成するほか、善通寺ICへのアクセス道路の一部を構成する延長7.5kmの4車線道路である。		
S49年度事業化	S55年度都市計画決定 (H4年度変更)	S56年度用地着手
S58年度工事着手		
全体事業費 約270億円	事業進捗率 42%	供用済延長 2.6km
計画交通量 23,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.7 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 116/316億円 (事業費：101/293億円) (維持管理費：15/23億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 226/862億円 (走行時間短縮便益：220/854億円) (走行費用減少便益：5/9億円) (交通事故減少便益：1/-1億円)
		基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（市街部への流入交通と通過交通が集中する上吉田交差点で約11km/hの速度向上が期待される） ・個性ある地域の形成（主要な観光地である金刀比羅宮へのアクセス向上が期待される）		
他18項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ・H13.5 国道319号善通寺バイパス対策協議会設置より、一般国道319号バイパスの早期完成の要望		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成15年3月、高松中央IC～高松西IC間供用により高松自動車道全線開通。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに延長2.6kmが完成供用されている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在施工中の区間（延長2.1km）の用地取得状況は93%となっており、平成18年度に完成供用を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 ・函渠、擁壁等のプレキャスト製品を採用し、工事期間短縮による工事コストの縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。